

【共同主催】

横浜市立大学、神奈川大学、
関東学院大学、横浜国立大学

第8回ヨコハマFD フォーラム

「新型コロナ禍の経験から、あらためて学生支援について考える」
～コロナ禍の学生生活と学修への影響～

2022年12月10日(土)

13時～16時

オンライン開催 (Zoom)

会場：Zoomによるオンライン開催（主催校：横浜市立大学）

※申し込みした方に後日メールでURLを連絡します。

対象：大学教職員、大学教育にご関心のある一般の方、学生等

定員：第1部：定員なし。第2部：先着200名（オンライングループワークをするため）

参加締切：2022年12月6日(火)※お早めにお申込みください

参加費：無料

申込URL：<https://forms.office.com/r/c7r4UXx2mz>

※第2部は定員になり次第締め切らせていただきます

◎お問い合わせ先

横浜市立大学教育推進課学術企画担当

✉acaplan@yokohama-cu.ac.jp



【申込QRコード】

当日の詳細については裏面へ

「新型コロナ禍の経験から、あらためて学生支援について考える」 ～コロナ禍の学生生活と学修への影響～

新型コロナウイルス感染症の拡大による大学生への影響として、授業のオンライン化、経済的問題の他に、キャンパスへの入構制限によって学生同士の交流ができなかったことや大学施設利用等の制限等の「学生支援」領域での問題が挙げられ、一部から不満の声も確認されています。特に大学への入学と新型コロナ禍が重なった現3年次生については、学修への影響も懸念されています。

このような背景を踏まえ、今年度のフォーラムでは、通学制大学における「大学の目的、大学生活の意義、大学に求められる学生への支援とは何か」について、当事者である学生も交えて議論し、今後のあり方を検討します。

【全体プログラム】

13:00～13:05 (5分)	接続の確認・注意事項等の事務連絡 【司会】菊池 芳明（横浜市立大学 学務准教授）
13:05～13:10 (5分)	開会あいさつ・フォーラムの流れおよび趣旨説明 中條 祐介（横浜市立大学高等教育推進センター長）
13:10～15:10 (120分)	【第1部】教職員と学生による実践報告-横浜4大学より- (各大学25分：敬称略) <横浜市立大学> ・柳本 薫（ボランティア支援室） 「新型コロナ禍におけるボランティア支援室の取組み」 ・加藤 すみれ（国際商学部3年・ボランティア支援室学生スタッフ） 浦田 莉里花（国際教養学部3年・ボランティア支援室学生スタッフ） 「新型コロナ禍におけるボランティア支援室学生スタッフVolunchの取組み」 <神奈川大学> ・東海林 竜也（理学部化学科 准教授） 「学習管理システムを活用した学生対応の模索」 ・菊地 湧也（理学研究科博士前期課程 2年） 「コロナ前後における学生生活の意識・行動の比較とそれらが与える影響～学習面に焦点を当てて～」 <関東学院大学> ・小林 弥生（カウンセリングセンター・臨床心理士） 「学生相談からみたコロナ禍の大学生生活の変化と支援の実際」 ・大藪 佑輝（経営学部4年） 「コロナ禍におけるサークル活動と授業形態等の変化」 <横浜国立大学> ・松本 真哉（高大接続・全学教育推進センター副センター長、 環境情報研究院教授） 「学修活動における本学のコロナ対策の影響」 ・杉山 陽平（理工学府 博士課程前期2年） 山田 亜実（経営学部4年） 「コロナ前後の学修活動を振り返る：学生の視点から」 【質疑応答（4大学分）】
各大学発表25分×4大学 (途中休憩5分) 質疑応答15分	
15:10～15:20 (10分)	休 憩
15:20～15:55 (35分)	【第2部】情報及び意見交換会 参加者によるグループワーク（Zoomのブレイクアウトセッション 機能を活用：4～5名で1グループ）と全体共有
冒頭説明・グループワーク 15分 全体共有 20分	
15:55～16:00 (5分)	閉会あいさつ(神奈川大学)